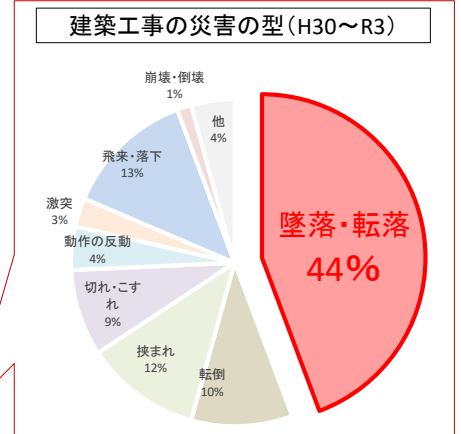
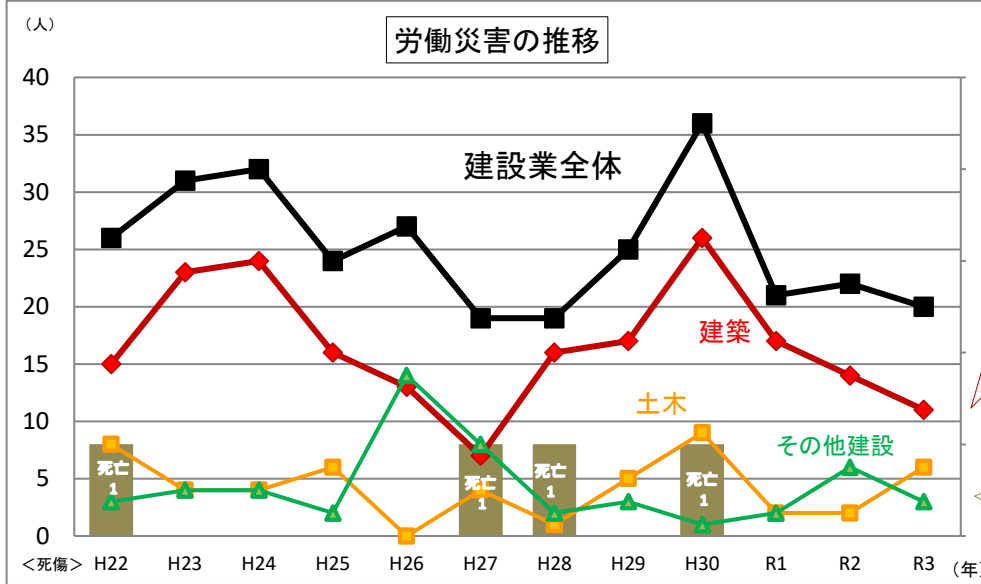


死亡・重篤災害【ゼロ】に向けて

「墜落」「熱中症」「火災」防止の強化

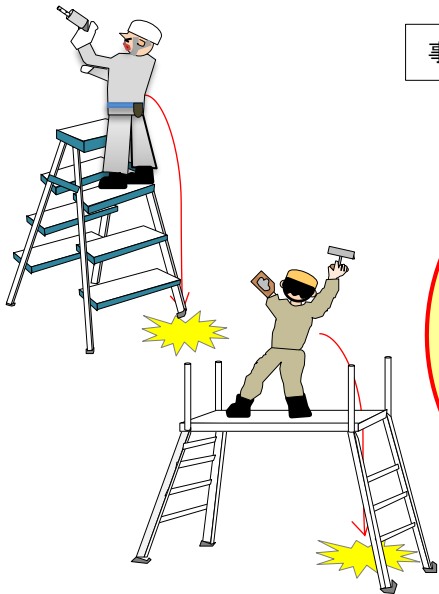
王子労働基準監督署

北区の建設業の災害の発生状況

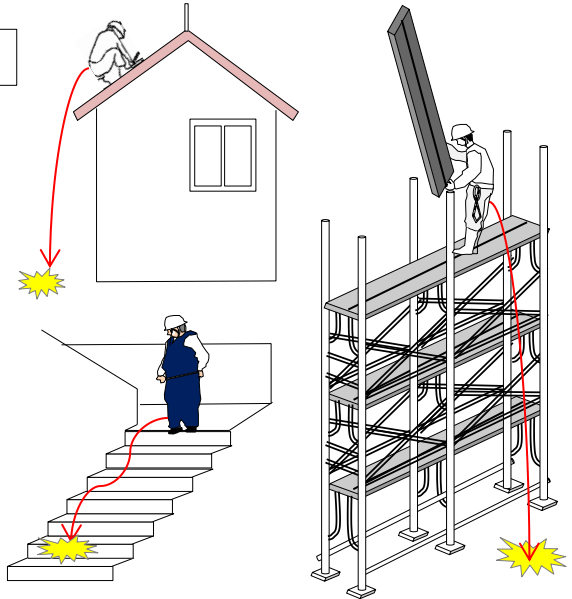
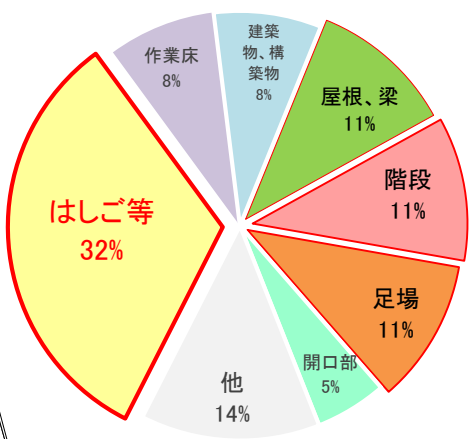


H22以降の死亡災害はすべて「墜落・転落」

建設業における「墜落」災害の特徴

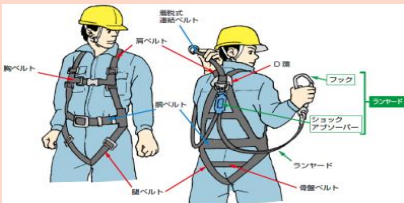


事故の型別発生状況【H30~R3データ(王子署)】



墜落制止用器具の使用

特に「足場の組立・解体時」に使用の徹底
フルハーネス型墜落制止用器具の特別教育
新規規格の墜落制止用器具を使用
(R4.1.2より旧規格は使用できません)



フルハーネス型の着用者が墜落時に地面に到達するおそれのある場合(高さが6.75m以下)は「胸ベルト型(一本つり)」を使用できます。

安全帯が「墜落制止用器具」に変わります！
～安全帯の取付位置は、胸部に固定し、足元を離します～

安全帯が「墜落制止用器具」に変わります！

1. 安全帯が「墜落制止用器具」に変わります！

2. 安全帯が「墜落制止用器具」に変わります！

3. 安全帯が「墜落制止用器具」に変わります！

墜落制止 改正 検索

安全衛生教育の徹底

現場監督への意識調査(R3東京労働局)において、労働災害発生要因として「作業の慣れ」「危険意識の低下」が多く回答

- 安全衛生教育の徹底
 - ▶ 新規入場、送り出し
 - ▶ 雇入れ教育
 - ▶ 職長の再教育・・・等
- 作業手順の周知状況
(手順内容の確認、周知会の実施)
- KY活動等の形骸化
(改めて活動の意味、目的、進め方を指導)



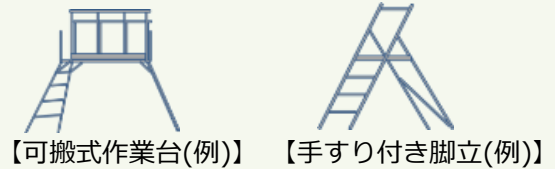
「墜落」「熱中症」「火災」による災害防止が重点対策

墜落・転落災害の防止について

1. 脚立、はしごについて

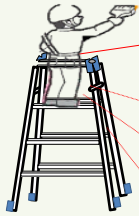
①まず検討！

□ はしごや脚立の**使用自体を避ける**

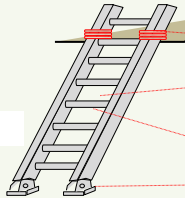


□ 墜落の危険性が相対的に低い用具へ変更(ローリングタワー、可搬式作業台、手すり付き脚立等)

②使用する場合の「**ルールの定め**」「**安全使用のポイント**を」教育

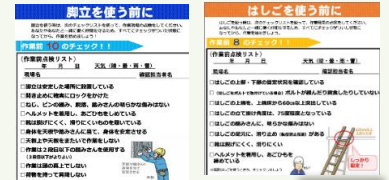


- 身を乗り出さない
(位置を直す)
- 天板作業禁止
- 反動のある作業しない
- 3点支持での昇降



- はしご上端固定・突き出し
- はしご上作業しない
- 3点支持での昇降
- 滑動防止(又は補助)

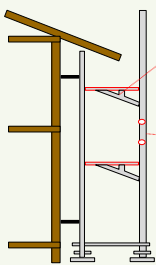
【チェックリストの活用】



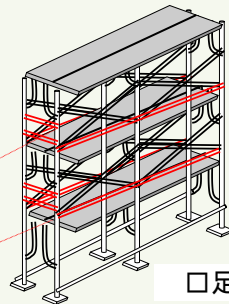
脚立 チェックリスト 厚労省 検索

2. 足場について

原則、**枠組・本足場(幅40cm以上)**を採用 **組立・解体中の対策徹底**



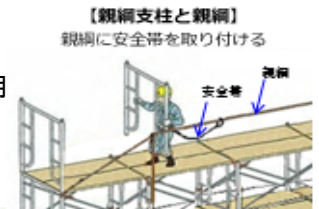
- 作業床の確保
(幅40cm以上)
- 手すり、
中さんの設置
- 下さんの設置
(躯体側も必要に応じて)



□ 足場の点検

R4に東京都内で足場解体中の墜落による死亡災害が発生しています

- 先行手すり採用
(適切な手順の徹底)
- 墜落制止用器具使用
(原則フルハーネス)
- 適切な取り付け設備
(親綱等)



□ 作業主任者の配置と職務の遂行

STOP! 熱中症 ～クールワークキャンペーン～

令和4年5月1日から9月30日までとする。
4月が「準備期間」、7月を「重点取組期間」

- 暑さ指数の把握
- 暑さ指数を下げる
- 休憩場所の整備
- 作業時間の短縮
- 服装
- 水分・塩分の摂取
- 熱への順化



のどがかわいていなくても

- 健診結果に基づく措置
- 日常の健康管理等
- 労働者の健康状態の確認
(作業員同士、巡視等)

- 異常時の措置



- ①糖尿病 ⑦皮膚疾患
- ②高血圧 ⑧感冒
- ③心疾患 ⑨下痢
- ④腎不全
- ⑤精神・神経系の疾患



睡眠不足
前日の飲み過ぎ
当日朝食取ったか



- 暑さ指数の低減対策が実施
- 各労働者が暑さに慣れ
- 各労働者の体調は問題
- 作業の中止や中断の有無
- 水分や塩分の摂取



迷わず救急車を呼びましょう!

異常を感じたらすぐ病院か救急車呼ぶ(教育、周知)

＜熱中症ポータルサイト

熱中症の発生の仕組・症状
教育資料・eラーニング動画
対策事例
WEB講習会の案内・など
是非活用を!



熱中症 ポータルサイト 検索

火災による災害防止

＜引火性・可燃性のある物の把握＞

- 火気作業を含めた作業計画の作成
- 危険性を労働者に周知
- RAの実施

＜施工場所への周知、注意事項＞

- 施工場所の表示「火気使用禁止」
- 消火器
- やむを得ず作業のある場合
- 作業指揮者
- 消火設備(作業場のすぐ近く)
- 不燃性シート等



解体等工事にかかる石綿対策

- 事前調査結果のシステム報告
(R4.4～)



パソコン、スマホから
24時間報告できます



- 事前調査を行う者、講習修了者(R5.10～)

- 工事の対象部材について、石綿の有無の調査
「目視、書面(設計図書等)」
- 作業の実施状況を写真で保存(3年保存)
- 隔離を解く前に取り残しが
ないかの確認
- 石綿含有仕上げ塗材、成型板の除去規制

石綿総合情報ポータルサイト 検索



第13次労働災害防止計画(5年目(最終年))推進中

※時間外労働の上限規制が令和6年4月1日から適用されます

～トップが打ち出す方針 みんなで共有 生み出す安全・安心～

王子労働基準監督署 R4.4作成